



ナデシコ（撫子） 三村 千秋

－ かしこい体を育てる －

今回のナデシコでは、私が現在副会長を務めている特別支援教育士広島支部の研修会(6月23日実施)の内容をお伝えしたいと思います。

講師は関西国際大学の中尾繁樹先生。「子供の姿勢と学習への影響」という興味深いものでした。中尾先生は古くからの知り合いで肢体不自由の特別支援学校の教諭を経て神戸の教育を支える役割を果たし、今も研究と実践を積んでおられる方です。

印象に残っているのは、昨今の子供たちの体の変化についてです。

鉛筆をうまく握れない、授業ですぐに姿勢が崩れる、体幹の弱さ、頭が前に出て腕で体を支えて授業を受ける、注意が続かない・・・などです。私も学校を訪問して感じる事が度々あります。

体は生きていくうえで基本です。でも、なぜでしょうか？

中尾先生は「子供たちの生活環境の変化」と言い切られています。

スマート時代。便利な物が増えていること自体は良いことですが、その影響で幼児期からゲームや動画に夢中になる機会が増え、学齢期には遊びや運動量の減少、夜型の生活が増えるなどの子供の生活環境が変化していることです。

保護者の皆様は日々一生懸命、お子様の幸せを願い育てておられます。

そこで中尾先生のお話から一つお伝えします。それは、「かしこい体を育てる」ことです。「学習に向かうことができる体を育てる」と言い換えられます。

学習に向かうことができる体は、まず、身体を支える（正しい姿勢を保つ、しっかり見る等）⇒次に、構える（予測して姿勢を保つ、話し手を見る等）、そして、調整する（見て動く、聞いて動く）のうえに育つということです。

幼児期にはいろいろな楽しい動きの経験や遊びを沢山する。学齢期以降には、集団でルールのあるゲームや粗大運動(マット等)、歩行、ランニング、ダンス等体を思いっきり使う運動を行う。そうしてかしこい体を育てたいものです。

今回の研修会には、クォーレから先生方が参加され、とても熱心に聴いておられました。きっと、これからの療育にも生かされていくと思っています。

個別面談

皆様にご心配されている子育て相談や就学相談など、クォーレでは対応が難しかった部分を三村先生にお願いし、個別相談をしていただくことになりました。

三村先生は、数々の実績とご経験をお持ちの方で、今もなお、広島大学客員教授などご多忙な毎日を送られている中、クォーレの療育に賛同して下さり、ご協力していただける運びとなりました。

Zoomでのオンライン面談も可能です。

<https://airrsv.net/qole-hogosyamendanyoyaku/calendar>

↑こちらから予約が可能です。

詳細は教室にお尋ねください。



お知らせ

Instagram・Facebookの更新が始まりました！

是非ご覧ください！！

クォーレのことをさらに詳しく、
ブログ随時更新中！

クォーレ ブログ

検索

